



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立那須甲子青少年自然の家

令和4年度
概要



那須甲子の自然はでっかいぞ!

カタクリ・ツツジなどの花々が咲き誇る春、青く澄んだ空に高原の緑が萌える夏、山々が夕焼け色に染まる秋、見渡すかぎり白銀の世界となる冬。四季折々の表情が美しい那須甲子の高原にある「国立那須甲子青少年自然の家」。恵まれた豊かな自然は子供たちの気づきの場にかわり、仲間とのかけがえのない体験を通して、子供たちの豊かな人間性をはぐくんでいきます。

NATIONAL NASUKASHI YOUTH OUTDOOR LEARNING CENTER

教育目標

那須甲子での体験活動を通して、
自然と語らい、仲間と語らい、
豊かな感性や人間関係力・社会力を養い、
社会人としての規範意識を育てる。



那須ロッジ



宿泊棟A棟から見える朝日



所章(シンボルマーク)

国立那須甲子青少年自然の家の那須(NASU)の「N」と甲子(KASHI)の「K」を組み合わせてデザイン化したものです。



愛称(ニックネーム)

「なすかしの森」は次代を担う子供たちのために、豊かなかけがえのない森を守り、育てていきたいと願ったものです。

那須甲子の歩み。

沿革

国立那須甲子青少年自然の家は、国立第2番目の少年自然の家として、昭和51年に設置され、今日までに500万人を超える方々にご利用いただいております。

昭和48年12月27日	国立第2少年自然の家の建設が福島県西白河郡西郷村に決定
昭和51年10月1日	国立那須甲子少年自然の家設置
昭和52年7月1日	一部事業開始(宿泊定員300人)
昭和52年11月30日	プレイホール完成、全面事業開始(宿泊定員400人)
昭和53年5月21日	開所式挙行、砂田文部大臣来所
昭和53年8月2日	皇太子殿下同妃殿下行啓(上皇上皇后両陛下)
昭和54年7月1日	キャンプ場開場
昭和55年5月26日	那須ロッジ完成
昭和55年8月28日	天皇陛下那須ロッジ行幸(昭和天皇)
昭和56年8月26日	天皇陛下本館行幸(昭和天皇)
昭和59年12月25日	野外炊飯庫・用具庫完成
昭和60年7月26日	臨時教育審議会委員視察(第3部会)
昭和61年3月18日	野外炊飯上屋(3棟)完成
昭和62年10月25日	開所10周年記念式典挙行
平成2年7月10日	自然館・宿泊棟Cリーダー室完成
平成4年1月31日	宿泊棟Bリーダー室完成
平成5年4月21日	本館利用者200万人達成記念式典挙行
平成5年12月25日	食堂増築・宿泊棟A棟改修
平成6年2月1日	「なすかし友の会」発足
平成6年4月28日	C棟宿泊室改修
平成6年10月26日	ニックネーム「なすかしの森」に決定
平成8年4月26日	インターネットホームページ開設
平成9年1月20日	プレイホール全面改修
平成9年5月18日～19日	小杉文部大臣視察
平成9年10月23日	開所20周年記念式典挙行
平成12年8月19日～20日	大島文部大臣視察
平成12年10月31日	環境学習棟完成
平成13年4月1日	独立行政法人国立青少年自然の家に移行
平成14年1月18日	那須ロッジ全面改修
平成15年9月26日	石窯完成
平成17年12月21日	食堂全面改修
平成18年4月1日	組織改編に伴い、独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立那須甲子青少年自然の家に移行
平成19年6月1日	交流談話棟利用開始
平成19年10月6日	開所30周年記念式典挙行
平成23年3月11日	東日本大震災
平成23年3月13日～8月26日	東日本大震災により一般受け入れ休止、東日本大震災一次避難所受け入れ
平成23年7月21日～8月30日	リフレッシュキャンプの開催(計11回)
平成23年8月4日	高本文部科学大臣視察
平成25年3月15日	「新しい公共」型の管理運営に向けた試行的実施に関する運営協議会設置(第1回運営協議会開催)
平成27年4月24日	「新しい公共」型運営協議会設置(第1回運営協議会開催)[本格的実施]
平成27年12月2日	野外炊事場に東屋設置
平成28年9月20日	総利用者数500万人達成
平成29年10月9日	開所40周年記念祝賀会開催
平成30年9月1日	わくわくひろば開設
令和2年2月28日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受入休止・受入制限を実施
令和3年1月1日	「なすかしメンバーズクラブ」発足
令和4年1月28日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受入休止・受入制限を実施



開所式 砂田文部大臣来所



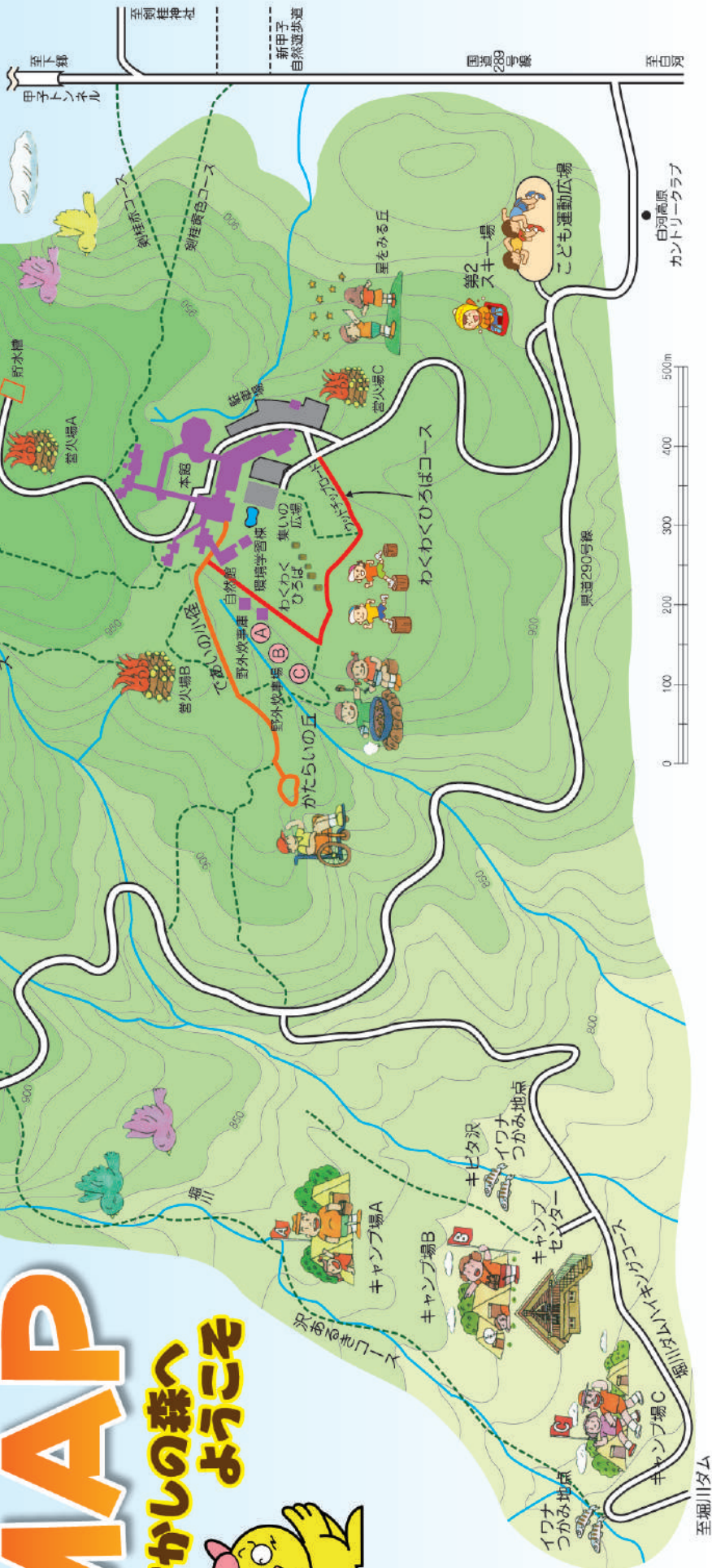
皇太子殿下同妃殿下行啓(上皇上皇后両陛下)



開所30周年記念式典

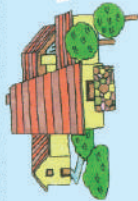
施設規模

敷地面積	130万㎡
建物面積	1万6千㎡
宿泊人員	400人
本館	120人
ロッジ	250人
キャンプ場	



マウントジーンズ
スキー場

那須ロッジ(本館より約15km)



なすかしの森 MAP

なすかしの森へ
ようこそ



本館配置図



プレイホール

約130万㎡の広大な土地に、活動の中心となる本館やキャンプ場があり、野外活動の施設やコースが効果的に整っています。本館は宿泊・食事・入浴など生活面での設備はもちろん、自然や環境について学べる自然館・環境学習棟、天候に左右されないプレイホール等自然や仲間と語り合えるキーステーションとして親しまれています。また、本館から15km離れた栃木県那須町には、茶臼岳・朝日岳登山の拠点となる那須ロッジがあります。



わんぱくルーム



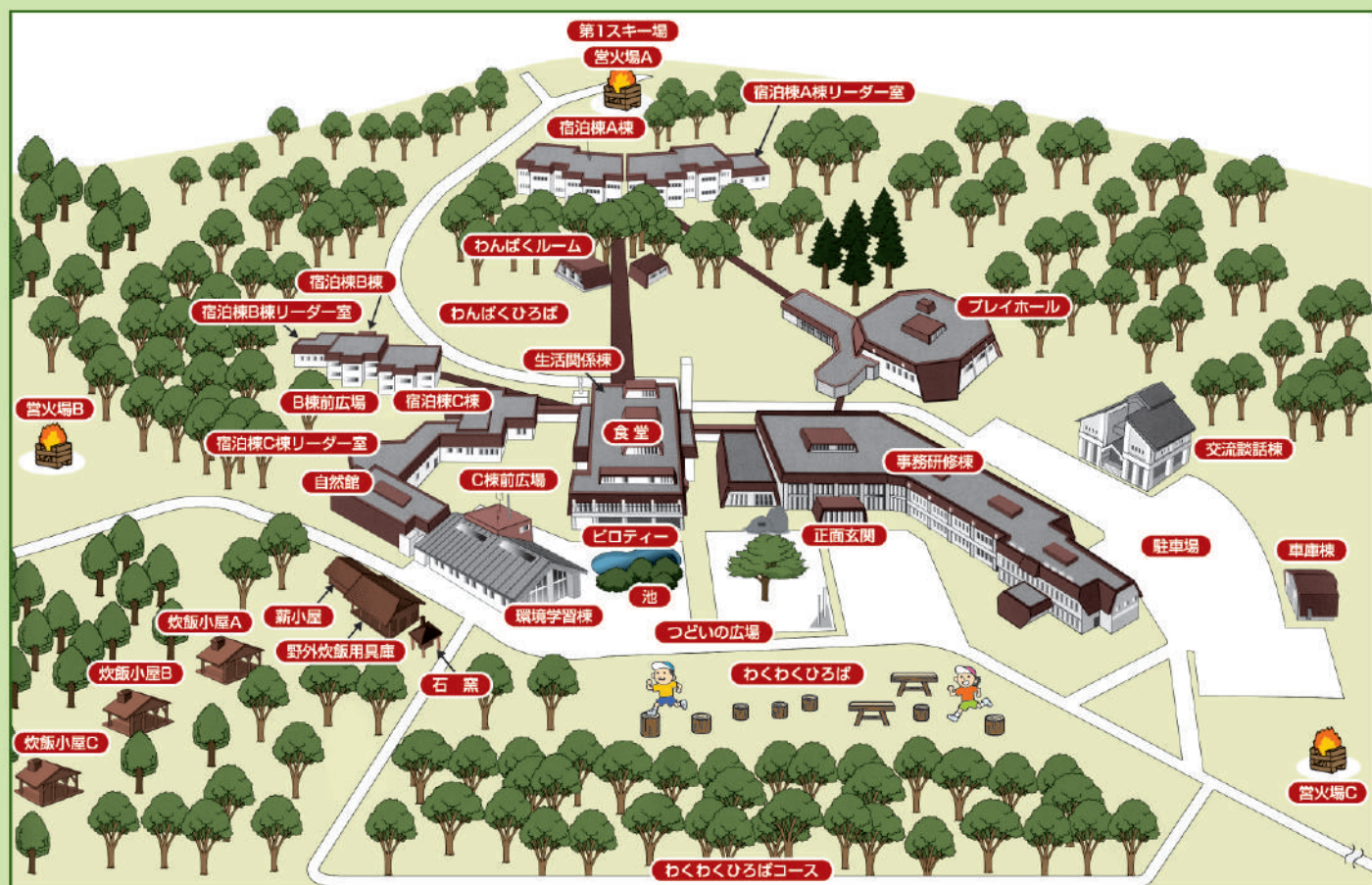
宿泊室(A・B棟)



宿泊室(C棟)



大浴場



自然館



食堂

主な活動プログラム

～ なすかしの森で100%^{パーセント}鮮度の原体験を!! ～



歩く活動

赤面山登山
茶臼岳登山
パノラマハイキング
沢歩きハイキング
剣桂ハイキング
野外冒険ハイキング



レク活動

オリエンテーリング
キャンプファイヤー
(屋外・屋内)
なすかしチャレラン



炊事活動

野外炊事
ピザづくり
うどん打ち
イワナつかみ



創作活動

白河絵付けだるま
焼き板
森のたより
ネイチャー万華鏡
竹とんぼ



文化活動

熊撃ちの話
星座観察
防災教育プログラム



雪中活動

ネイチャースキー
スノーシュー
そりすべり
雪上キャンプファイヤー
雪上運動会



令和3年度 教育事業ダイジェスト

なすかしの森 セカンドスクール

〔事業種別〕 学校との連携・協働/学習指導要領対応



実施期日
・
参加者数

①	令和3年	10月 18日(月)～22日(金)	4泊5日	棚倉町立近津小学校	24名
②	//	10月 18日(月)～22日(金)	4泊5日	棚倉町立高野小学校	9名
③	//	10月 28日(木)～29日(金)	1泊2日	棚倉町立社川小学校	17名
④	//	10月 25日(月)～29日(金)	4泊5日	西郷村立川谷小学校	11名
⑤	//	11月 8日(月)～12日(金)	4泊5日	西郷村立米小学校	36名
⑥	//	11月 8日(月)～12日(金)	4泊5日	西郷村立熊倉小学校	74名
⑦	//	11月 15日(月)～19日(金)	4泊5日	西郷村立小田倉小学校	76名
⑧	//	11月 15日(月)～19日(金)	4泊5日	西郷村立羽太小学校	12名

概要

・事業内容
・対象者
・効果 等

西郷村5校、棚倉町3校、計8校の小学5年生が1泊2日や、4泊5日の日程で参加した。長期集団宿泊体験活動を通して、社会を生き抜く力を育み、教科等に関連付けた体験活動プログラムを行うことで、主体的・対話的で深い学びにつながった。児童の育ちの他、学生・教員・保護者・施設職員と五者が共に学び、相互に成長する「五者の育ち」として意義のある事業である。学生にとっては、自身のキャリア形成の場となり、教員にとってはカリキュラム・マネジメントの視点を学ぶ場となった。また、保護者にとっても子育てを改めて考える場となった。

ウィークエンドな森あそび

〔事業種別〕 自然体験等普及・啓発



実施期日
・
参加者数

令和3年	6月 5日(土)	4家族	15名
令和3年	11月 23日(火)	7家族	24名
令和4年	1月 22日(土)	6家族	22名
令和4年	3月 5日(土)	6家族	18名

概要

・事業内容
・対象者
・効果 等

家族が自然体験を通じて触れ合う機会が減少する中で、幼児から小学校低学年程度の子どもの家族を対象に、当施設で気軽に施設に訪れ、四季折々の自然体験活動の機会および場を提供した。あわせて、当施設における家族利用の裾野を広げるべく、施設認知度の向上および利用促進を図った。初年度にあたる令和3年度は、計4回実施した。事業参加後になすかしの森メンバーズクラブに申し込みを希望した家族もいたため、施設の魅力発信および認知度向上に寄与した。

なすかしの森 ディスクゴルフ体験教室

〔事業種別〕 自然体験等普及・啓発



実施期日
・
参加者数

令和3年 11月 3日(水) 8家族 16名

概要

・事業内容
・対象者
・効果 等

福島県フライングディスク協会の協力のもと、ディスクゴルフの魅力やスポーツを通して、家族同士でコミュニケーションを取ることに楽しさや面白さを実感することを目的として、小・中学生(3年生以上)とその家族を対象に実施した。特に今回は第1スキー場をゲームのフィールドにすることで、バリエーション豊かなディスクゴルフを体験することができた。

なすかしの森 ファミリーチャレンジ

〔事業種別〕 自然体験等普及・啓発



実施期日
・
参加者数

①令和3年 7月 10日(土)～ 7月 11日(日) 1泊2日 10家族 30名
②令和4年 1月 15日(土)～ 1月 16日(日) 1泊2日 7家族 26名

概要

・事業内容
・対象者
・効果 等

第1回は、「はじめてのキャンプ」というテーマで火おこしから野外炊事という流れでストーリー性あるプログラムを実施した。野外炊事では、限られた薪を使って調理することに挑戦した。

第2回は、雪の活動や、伝統文化行事である、節分を楽しむ機会を提供し、あらためて家族の良さや課題を発見する機会とした。参加家族は、白河だるまの絵付けや恵方巻作りなどで新年の目標や夢等の思いを話し合ったり分担した役割を果たしたりすることで家族の成長を感じることができた。

なすかしの森 親子防災チャレンジキャンプ

[事業種別] 防災・減災キャンプ



実施期日
・
参加者数

- ①令和3年 9月 4日(土)～ 5日(日) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
②令和3年 12月 4日(土)～ 5日(日) 10家族 24名

概要

・事業内容
・対象者
・効果 等

コミュニティの最小単位である家族の防災・減災力に注目し、家族が実際に被害を最小限に抑え、生き抜くための力を養成することを目的とした。

福島大学人間発達文化学類教授の初澤敏生先生と福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授の天野和彦先生を講師に招き、家族を対象に防災食づくりと、火おこし、たき火体験、応急手当、避難所体験、防災ワークショップを行った。参加者からは、バッククッキングの仕方や避難所での課題や現状について知ることができて、防災力を高めることができたとの声をいただいた。

なすかしの森 パーセンド 100%鮮度! 体験キャンプ

[事業種別] 生活・自立支援キャンプ



実施期日
・
参加者数

- ①令和3年 7月 3日(土)～ 4日(日) 1泊2日 7名
②令和3年 9月 25日(土)～ 26日(日) 1泊2日 6名
③令和3年 12月 11日(土)～ 12日(日) 1泊2日 8名
④令和4年 2月 5日(土)～ 6日(日) 1泊2日 7名

概要

・事業内容
・対象者
・効果 等

福島県内に在住する、ひとり親家庭の小学4～6年生の児童を対象に、季節に合わせた様々な自然体験活動を始め、食事づくりなどの生活体験、異年齢層での宿泊体験などを通して、基本的な生活習慣の確立や自立する力を身に付けることを目的に実施した。参加者は、様々な自然体験活動取り組む中で、自然に親しんだり、仲間と交流したりしながら、自身の成長を実感することが出来ていた。また、法人ボランティアとのかかわりの中で、参加者のキャリア意識の芽生えも感じられた。

スペシャルニーズプログラム開発プロジェクト

〔事業種別〕 地域の実情を踏まえた特色あるプログラム事業



実施期日

参加者数

①令和3年 11月 12日(金)

福島県立西郷支援学校中学部に在籍する生徒8名、引率教員5名
※本来は9月9日(木)～10日(日)に実施予定だったがコロナ禍のため延期

②令和4年 1月 28日(金)

福島県立西郷支援学校小学部に在籍する生徒18名、引率教員10名
上記の他、スペシャルニーズプログラム企画評価委員会を計5回開催した。

概要

- ・事業内容
- ・対象者
- ・効果 等

第1回目は、自然を使ったアクティビティ、自然物を使ったクラフトを行った。スペシャルニーズプログラム企画評価委員会の委員から様々なアイデアや意見をいただき、生徒の実態に沿ったプログラムを展開した。生徒たちは那須甲子の自然環境を各々が感じるままに思う存分味わっていたのが印象的であった。

第2回目は、雪遊びの予定であったが、コロナ禍のため学校に出向いて室内レクリエーションを行った。参加児童が雪遊びを実施できずに残念がっているだろうと考え、気持ちを切り替えてもらうために着ぐるみも参加させて楽しく活動を行うことができた。

全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」

〔事業種別〕 高校との連携・協働



実施期日

参加者数

令和3年 4月 16日(金)～令和4年 2月 13日(日)

※オリエンテーション合宿 令和3年 4月16日(金)～7月9日(金)

※地方ステージ[東北ブロック] 令和3年12月26日(日)

※全国ステージ 令和4年 2月13日(日)

福島県立光南高等学校 第2学年 文理進学系列25名

概要

- ・事業内容
- ・対象者
- ・効果 等

本事業は、高校生が体験活動を通じた成長を促し、改訂された学習指導要領のキーワードである「探究」の手法を用いて学びを深めることや、取組みを段階的に分け、効果的な学びの手法が修得できるよう構成されている。特に、地域での実践活動では、多様な人々と協働しながら地域・社会にある課題解決に向けた取組を行うことで、郷土や自然に愛着をもち、新たな価値を創造する高校生の育成を目的として実施した。

地方ステージでは団体の部で3校8グループ、個人の部で5校7名が参加。団体の部において宮城県立築館高等学校、個人の部において福島県立光南高等学校2年生の鈴木彩夏さんが全国ステージへ出場し、個人の部において全国高校生体験活動顕彰制度委員会委員長賞を受賞した。

なすかしの森 ボランティア養成研修

〔事業種別〕 指導者養成



実施期日
・
参加者数

令和3年 5月15日(土)～16日(日) 1泊2日 大学生13名、高校生9名(計22名)

概要

・事業内容
・対象者
・効果 等

当機構の基本カリキュラムに基づき、「青少年教育と青少年教育施設の役割」「青少年教育施設におけるボランティア活動の意義」「青少年についての理解」「普通救命講習」「活動プログラムの体験」などの講義・演習を行った。先輩法人ボランティアに支援者としてオンライン参加してもらうことで、参加者が効果的にボランティア活動について理解を深めるとともに、必要な知識・技術を身に付けることができた。また、今後のボランティア活動への意欲を高め、青少年教育施設や地域で活動できるボランティアを育成した。

自然体験活動指導者 (NEALリーダー) 養成研修

〔事業種別〕 指導者養成



実施期日
・
参加者数

令和4年 1月17日(月)～19日(水) 2泊3日 16名

概要

・事業内容
・対象者
・効果 等

全国の青少年教育施設で勤務している方や、青少年教育施設職員を目指している方を対象に、全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、子供の発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を養成する事業を実施した。

研修対象者を青少年教育施設職員に限定したことで、より実態にそった研修内容にするために、那須高原ビジターセンターで実習等を行う工夫をした。また、対象者が絞られていたため共通の話題やテーマについて、参加者同士で意見交換することができ、指導者としての基礎基本+αの研修を実施することができた。

保育者・指導者のための体験会

〔事業種別〕 指導者養成



実施期日
・
参加者数

①令和3年 8月 18日(水)

西白河地区公立幼稚園園長 15名

②令和3年 10月 10日(日)

郡山女子短期大学部幼児教育学科1・2年生 20名

概要

・事業内容
・対象者
・効果 等

保育に携わる方々に自然体験を提供し、幼児が主体的に遊べる環境や、安全管理について学ぶことを目的として本事業を実施した。

1回目は、郡山女子大学短期大学部の柴田先生を講師に招き、西白河地区公立幼稚園園長を対象に講義と実践で構成した研修を行った。参加者からは、自園での保育に活かしたいとの声をいただいた。

2回目は、新型コロナウイルス感染防止対策から、郡山女子大学短期大学部の学生に絞り込み、ネイチャーゲームと焚火で焼きいもづくりを行った。

新春 白河・本町 書き初めウォーク2022 ～探せ、私の夢 誰もが輝ける1年を!～

〔事業種別〕 (試行事業) 青少年の文化体験活動の普及・啓発



実施期日
・
参加者数

令和4年 1月 10日(月) 25名

概要

・事業内容
・対象者
・効果 等

日本の伝統文化であり、年中行事である「書き初め」プログラムを通して、青少年の伝統文化に触れる機会を提供することを目的として本事業を開催した。また、本事業では「出会い」「地域」「商店街」をキーワードに、地域に根差したプログラムを実施した。

白河本町商店街の8つの店の他、地元出身の書家 根本みき氏等を講師に招くことで、大勢の地域の方々を巻き込んで事業を展開することができた。参加者からは「来年も参加したい」「白河の歴史を学ぶことができた」などの声をいただいた。

育パパ&育ママ応援ファミリーキャンプ2022冬 in国立那須甲子青少年自然の家

〔事業種別〕 民間企業等連携



実施期日
・
参加者数

令和4年 1月 22日(土)～ 23日(日) 7家族 20名

概要

・事業内容
・対象者
・効果 等

当機構は民間企業等の連携による教育事業の質的・量的な拡充を図るため、3～6年生を含む家族・親子対象に民間企業との共催事業を実施した。「家族で雪エンジョイ体験」では、都会では味わえないような雪中活動を楽しんだ。「地域交流マルシェ」では、地域の方々と体験交流を深めることができた。「雪上運動会」では、家族の絆が深まると共に参加者同士の仲間意識が高まるなど、民間企業と連携したモデルプログラムを構築することができた。

令和4年度 なすかしの森教育事業等

令和4年3月15日現在

対象	事業名	趣旨	日程
西郷村・棚倉町小学5年生	セカンドスクール2022	西郷村及び棚倉町の7つの小学校と連携した事業であり、5年生を対象とした宿泊学習活動です。当施設が有する教育資源を活用し、新学習指導要領に対応した教科等に関連した体験活動プログラム、自然体験等を行うことで「主体的・対話的で深い学び」を促し、生きる力や考える力を育てることを目的としています。 ＜3泊4日または4泊5日＞	参加校 棚倉町立近津小 棚倉町立高野小 棚倉町立社川小 西郷村立小田倉小 西郷村立熊倉小 西郷村立米小 西郷村立羽太小 10月17日(月)～21日(金) 10月17日(月)～21日(金) 10月25日(火)～28日(金) 10月24日(月)～28日(金) 11月7日(月)～11日(金) 11月14日(月)～18日(金) 11月14日(月)～18日(金)
家族・一般	ファミリーフェスティバル2022	家族を対象に、様々な体験活動の提供を通して、子供の頃の体験の重要性を普及・啓発します。 ＜日帰り＞	10月2日(日)
	フライングディスク・チャレンジキャンプ2022	なすかしの森をフィールドにディスクゴルフの体験活動を行い、ニュースポーツの楽しさを共有します。 ＜1泊2日＞	7月30日(土)～31日(日)
	全国一斉書き初め大会	日本の伝統文化であり、年中行事である「書き初め」を通して、青少年の伝統文化に触れます。 ＜日帰り＞	令和5年1月9日(月)
親子	ファミリーチャレンジⅠ・Ⅱ	幼児、小学生、中学生を含む親子を対象に、四季折々の様々な自然体験活動を通して、家族のふれあいや他の家族との交流の場を提供します。 ＜各回1泊2日＞	令和5年 7月9日(土)～10日(日) 2月4日(土)～5日(日)
	パパチルキャンプ	幼児とその父親を対象に、なすかしの森を満喫する体験活動を行います。 ＜1泊2日＞	11月26日(土)～27日(日)
小学生等	防災・減災キャンプ	小学3～6年生を対象として、野外での活動スキルを身に付け、防災意識を学ぶことを基本にしたキャンプです。 ＜各回1泊2日＞	9月10日(土)～11日(日) 12月10日(土)～11日(日)
	パーセンド 100%鮮度！ 体験キャンプ	福島県内在住のひとり親家庭の児童やその保護者を対象に、自然体験等を通して、生活習慣の確立や自立する力を身につけることを目指します。 ＜各回1泊2日＞	令和5年 8月6日(土)～7日(日) 10月8日(土)～9日(日) 12月17日(土)～18日(日) 2月28日(土)～29日(日) 3月4日(土)～5日(日)
自立支援	スペシャルニーズキャンプ	支援学校等と連携し、誰でも使いやすく、利用しやすく、施設とするための計画を立案するとともに、そのための事業を実施します。 ＜1泊2日・日帰り＞	9月8日(木)～9日(金) 9月14日(水) 令和5年1月27日(金)
小・中学生	三町村合同リーダー育成キャンプ2022	西郷村・下郷町・那須町の児童、生徒が体験活動や登山へのチャレンジを通して協力し、相互に助け合う中で交流し、将来の地域を語りあう中で、那須甲子地域を支える地域リーダーを育てます。 ＜4泊5日＞	8月14日(日)～18日(木)
高校生	全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」	福島県立光南高等学校と連携し、高校生の探究活動をサポートします。地域での実践活動を通して、郷土や自然に愛着をもち、新たな価値を創造する高校生を育てます。	【オリエンテーション合宿 4月～7月】 ※施設泊 7月26日(火)～27日(水) 【地方ステージ】 12月24日(土)～25日(日) 【全国ステージ】 令和5年2月11日(土)～12日(日)
一般・指導者	ボランティア養成研修	体験活動ボランティアを養成する研修です。研修後は全国28の国立施設で法人ボランティアとして活動できます。 ＜1泊2日＞	6月11日(土)～12日(日)
	NEAL リーダー(幼児指導者)	幼児等の野外での体験活動を推進するNEAL リーダーを養成します。資格所得後は1泊2日のファミリー事業に支援スタッフとして実践も用意されています。 ＜2泊3日＞	9月23日(金)～25日(日)
	NEAL インストラクター	自然体験活動の企画・運営からNEAL リーダーを指導する立場になるNEAL インストラクターを養成します。受講資格はNEAL リーダー資格と演習Ⅰ修了者となります。 ＜3泊4日＞	令和5年2月23日(木)～26日(日)
	学校利用事前説明会	先生方を対象に、実際の利用に向けた相談会を行います。当施設でできるプログラムを体験することもできます。 ＜各回2日(1日のみ参加可)＞	5月6日(金)／7日(土) 7月1日(金)／2日(土)

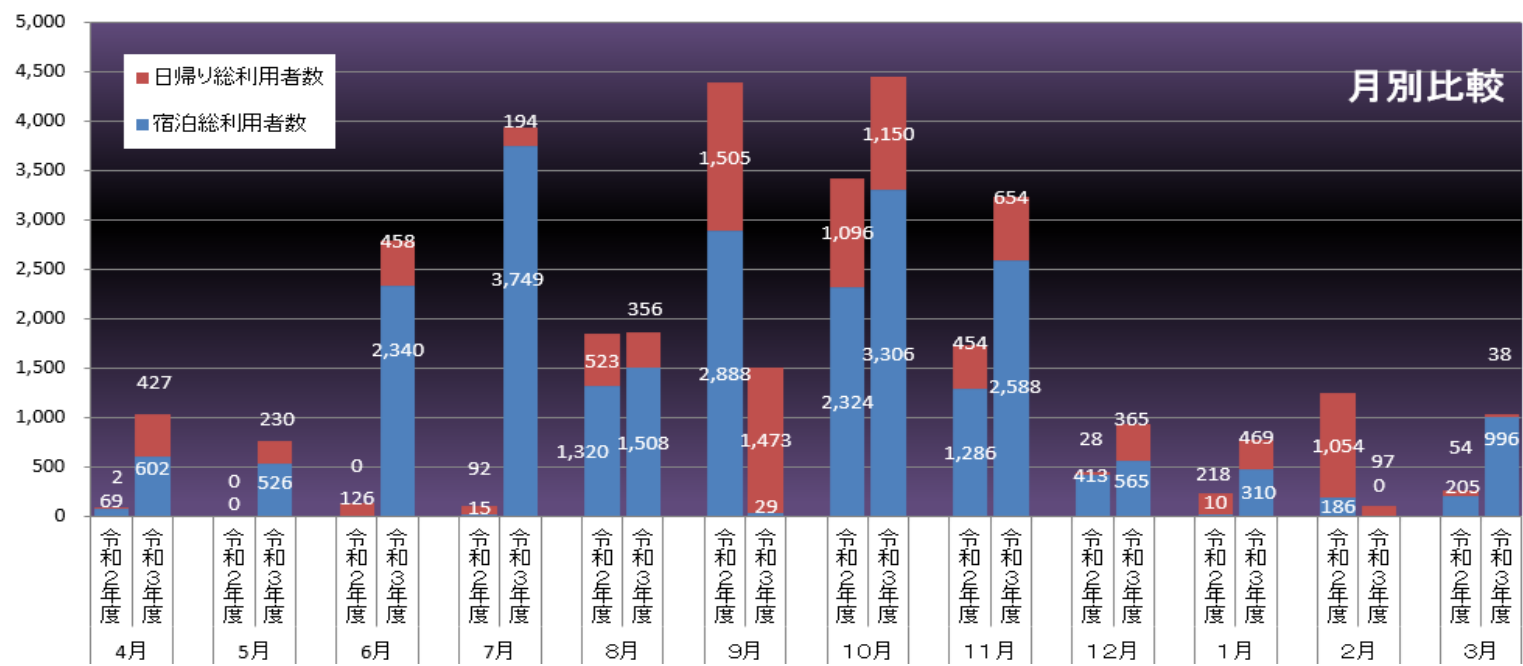
詳細が決まり次第、随時 web サイト等で御案内します。また、事業名や日程等が変更になることもございます。

国立那須甲子青少年自然の家 利用状況

令和3年3月15日時点

令和2年度と令和3年度の利用者数比較

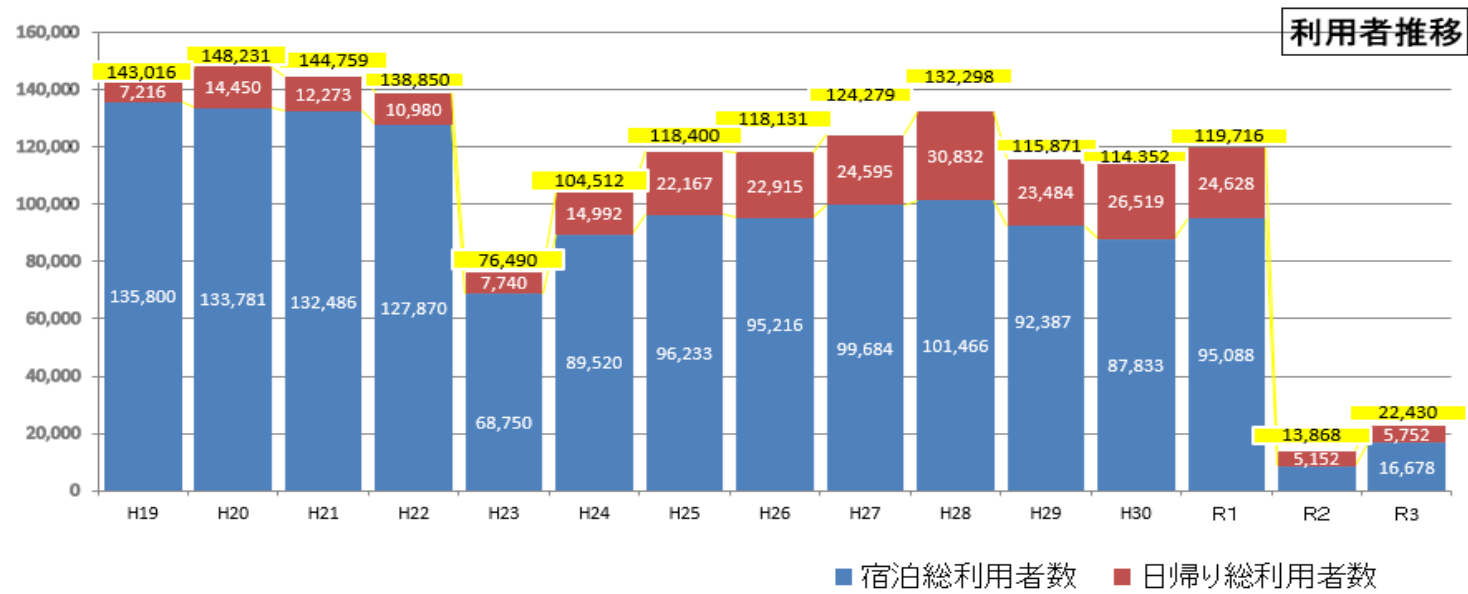
※教育事業を含む。



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宿泊利用者数	R3	602	526	2,340	3,749	1,503	29	3,306	2,588	565	469	0	996	16,678
	R2	69	0	0	15	1,320	2,888	2,324	1,286	413	10	186	205	8,716
	R3-R2	533	526	2,340	3,734	183	-2,859	982	1,302	152	459	-186	791	7,962
日帰り利用者数	R3	427	230	458	194	356	1,473	1,150	654	365	310	97	38	5,752
	R2	2	0	126	92	523	1,505	1,096	454	28	218	1,054	54	5,152
	R3-R2	425	230	332	102	-167	-32	54	200	337	92	-957	-16	600
総利用者数	R3	1,029	756	2,798	3,943	1,864	1,502	4,456	3,242	930	779	97	1,034	22,430
	R2	71	0	126	107	1,843	4,393	3,420	1,740	441	228	1,240	259	13,868
	R3-R2	958	756	2,672	3,836	21	-2,891	1,036	1,502	489	551	-1,143	775	8,562

過去15年間の利用者数比較

※教育事業を含む。



■ 宿泊総利用者数 ■ 日帰り総利用者数

令和3年3月15日現在

都道府県別利用者数比較

※教育事業参加者数を含めない。

令和3年度	福島県	栃木県	茨城県	東京都	埼玉県	千葉県	神奈川県	その他	合計
団体数	260	23	33	45	32	18	5	21	437
利用者数	12,396	1,223	2,171	2,183	709	400	45	1,334	20,461

令和2年度	福島県	栃木県	茨城県	東京都	埼玉県	千葉県	神奈川県	その他	合計
団体数	176	14	18	19	15	17	1	16	276
利用者数	6,827	525	872	311	417	490	9	760	10,211

差引き	福島県	栃木県	茨城県	東京都	埼玉県	千葉県	神奈川県	その他	合計
団体数	84	9	15	26	17	1	4	5	161
利用者数	5,569	698	1,299	1,872	292	-90	36	574	10,250

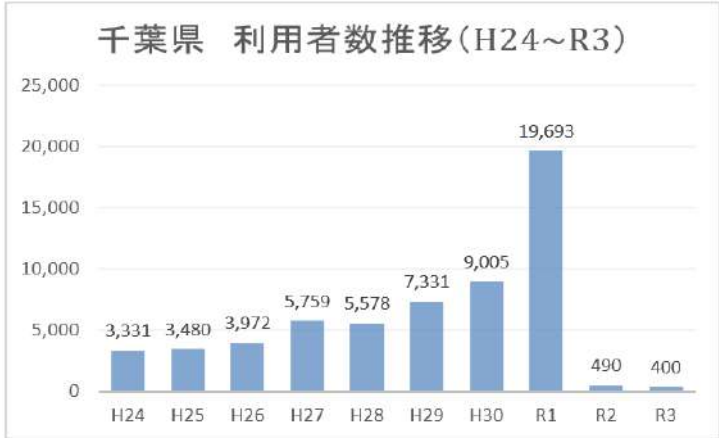
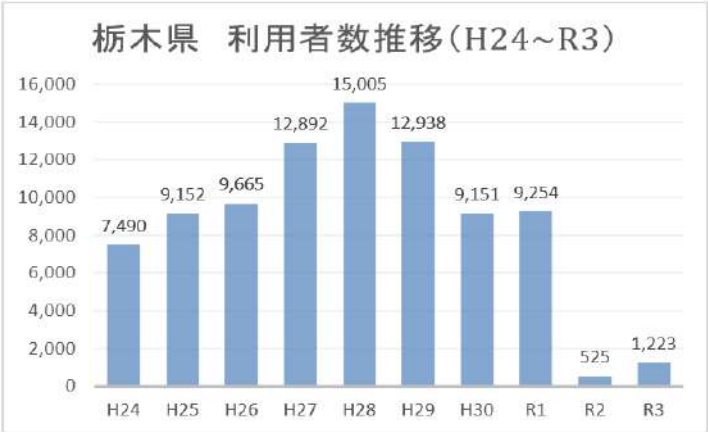
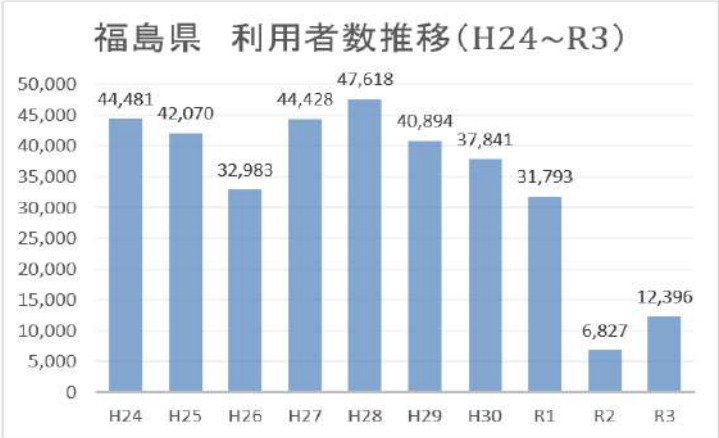
主催団体別利用状況比較

令和3年度	青少年団体			学校							その他		官公庁・企業など		家族	総合計
	当機構	公立青少年教育施設等	青少年活動関係	保育園幼稚園	小学校	中学校	高等学校	大学短期大学高等専門学校	専修学校専門学校	特別支援学校	上記以外の教育関係施設・団体等	上記以外の団体・グループ・サークル	官公庁等	企業等		
団体数	80	0	37	18	147	27	1	3	1	3	32	41	7	8	67	472
利用者数	3,606	0	2,007	764	8,973	1,970	3	15	330	39	1,979	1,468	477	251	545	22,427

令和2年度	青少年団体			学校							その他		官公庁・企業など		家族	総合計
	当機構	公立青少年教育施設等	青少年活動関係	保育園幼稚園	小学校	中学校	高等学校	大学短期大学高等専門学校	専修学校専門学校	特別支援学校	上記以外の教育関係施設・団体等	上記以外の団体・グループ・サークル	官公庁等	企業等		
団体数	69	0	17	16	112	21	0	1	0	3	25	18	5	5	53	345
利用者数	3,657	0	1,260	441	5,712	1,292	0	24	0	50	581	304	31	80	436	13,868

差引き	青少年団体			学校							その他		官公庁・企業など		家族	総合計
	当機構	公立青少年教育施設等	青少年活動関係	保育園幼稚園	小学校	中学校	高等学校	大学短期大学高等専門学校	専修学校専門学校	特別支援学校	上記以外の教育関係施設・団体等	上記以外の団体・グループ・サークル	官公庁等	企業等		
団体数	11	0	20	2	35	6	1	2	1	0	7	23	2	3	14	127
利用者数	-51	0	747	323	3,261	678	3	-9	330	-11	1,398	1,164	446	171	109	8,559

過去10年間の県別利用者数の推移(平成24年～令和3年度)





「なすかしの森」での活動と仲間と共に過ごす時間は、「ドキドキ・わくわく、泣いたり、笑ったり、つらかったり、楽しかったり」と、感動と色々な気づきをもたらすことでしょう。

原体験は、子供たちの成長に欠くことのできないもので、私たちは一人でも多くの子供たちにその機会を提供したいと考え、安全の確保に留意し、取り組んでいます。

なすかし7ピース

== いつもと違う環境の中で ==



国立那須甲子青少年自然の家では、いつもと違う環境で、日常生活では得られない体験ができます。私たちは、一人でも多くの方々に、得がたい体験をしていただきたい、楽しく笑顔で過ごしていただきたいと願っています。

「なすかしの森」に集う皆さんが笑顔になるために、一人一人に大切にしてほしい心掛けを「なすかし7ピース」としています。

みんなのやってみたいに
より²そう なすかし

パーセント
100%鮮度の原体験



National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立那須甲子青少年自然の家

〒961-8071 福島県西白河郡西郷村大字真船字村火6-1
TEL:0248-36-2331 FAX:0248-36-2150
<http://nasukashi.niye.go.jp>

施設HP

